

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bei&bpi.v.2.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪医科大学附属病院(仮称)中央手術棟	階数	地上6F/地下1F
建設地	大阪府高槻市	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	660 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,544 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 0.0	評価の実施日	2014年7月28日
敷地面積	6,544 m <sup>2</sup>	作成者	日建設計 設計部 山本
建築面積	3,216 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月31日
延床面積	14,226 m <sup>2</sup>	確認者	日建設計 設計部 山本



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 断熱性の高く、快適な室内空間を構成している。東、西、南、北の4方向に開口部を融資、自然採光・自然通風を取り入れる計画としている。適切な空調制御と環境配慮手法を取り入れることで、室内環境を快適に保ちながら環境負荷低減を実現している。災害時に信頼性の高い躯体・内装・設備とすることで、有事に建物機能を確保できる計画としている。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 外壁や開口部を熱貫流率の低い材料で構成し、庇の設置により日射負荷を抑制することで、空調負荷を抑える計画としている。各居室に4管式FCUや冷暖自在のパッケージ空調機を設置すること、30m <sup>3</sup> /h・人以上の換気量確保で、優	<b>Q2 サービス性能</b> 構造・内装・設備の主要な部分に関して、十分な耐用性・信頼性を有する計画としている。設備の更新性に配慮した計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内緑地を適切に確保した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能の高い建物とし、PAL値の低減を図る計画としている。空調設備の省エネルギー手法として、大温度差送水・VAV・VWVなどの制御や高効率機器を採用することで、一般建物に比べて大幅な省エネルギーを実現している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 使用する建材はF☆☆☆☆とし、化学汚染物質の発生を抑えた計画としている。衛生設備の環境配慮手法として、節水器具・自動水栓・擬音装置の採用、雨水利用などにより節水を積極的に行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 様々な省エネルギー手法を取り入れることにより、建物からのCO <sub>2</sub> 排出量を削減し環境負荷を低減している。隣地に対して圧迫感を与えないよう、上部部をセットバックした計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	大阪医科大学附属病院(仮称)中央手術棟		
	建設地	高槻市北園町355番2、大学町344番3 外15筆		
	用途/区分	病院		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.9	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	4
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.2	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.8	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					